

事務事業名		鉛製給水管布設替事業			会計	水道事業					
課等名		水道課			事業種別	政策		開始	18	終了	28
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり							
		施策	45	居住基盤の向上							
目的	対象(誰・何を)	上水道区域内の鉛製給水管とそれを使用しているお客様(市民)			対象指標	指標名及び単位				24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	鉛製給水管を布設替することにより、安全な水道水の供給を行う				鉛製給水管の残存戸数				8132	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度				鉛製給水管を使用しているお客様(市民)数 ÷ 鉛製給水管の残存戸数 × (給水人				19540	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	布設替率(%) = 布設替した鉛製給水管の戸数 / 事業当初の鉛製給水管戸数			66.7	57.2	74.5	100			
	定性目標										
事業概要	<p>配水本管から量水器までにある鉛製給水管を、計画的に布設替し、安全な水道水の提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他事業等に伴わない単独の鉛製給水管布設替を砂払浄水場系統から順次行う。 老朽配水本管の布設替に伴う給水管切替工事で鉛製給水管の布設替を旧市内を中心に行う。 下水道工事、ガス工事等の他事業工事に伴う給水管切替工事で鉛製給水管の布設替を全市域で行う。 公道分漏水修理工事に伴い鉛製給水管の布設替を全市域で行う。 										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 鉛製給水管布設替事業 361件				1 鉛製給水管布設替事業			361 件			
	(1)鉛製給水管単独布設替 旧市内・上郷・座光寺・鼎地区 328件				2他事業に関連して行う布設替			517 件			
(2)老朽配水管布設替に伴う布設替 旧市内地 33件				合計			878 件				
2 他事業に関連して行う布設替 517件											
(1)他事業関連配水管布設替に伴う布設替 43件											
(2)漏水修理、宅内改造等に伴う布設替 474件											
1+2の合計(=解消件数) 878件											
残存件数(19,000件-9,990件(23年度まで)-878件) 8,132件											
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		256,473	226,900	226,826	186,800	一般財源は、一般会計の事業費に対する1/2補助金 23年度決算額中、35,070千円は22年度繰越事業					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		132,566	113,500	115,399	93,400						
一般財源		123,907	113,400	111,427	93,400						
人件費計(千円)②		7,152		7,152							
正規職員所要時間		2,000		2,000							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		263,625	226,900	233,978	186,800						
事業内容・目標達成状況の振り返り	対象地域が郊外に拡大し、調査費に対して、改修率が低下してきている。また、想定外の宅内改造工事等により布設替工事費が圧迫された。										
改革改善の考え方	①問題点	郊外地が対象になるに従い、調査費が増大し事業効率が低下している。より効率の良い工事発注方法の検討と経費の見直しが必要である。当初の鉛管残存数が推計であるため、成果指標が実態と乖離している可能性がある。									
	②改革提案	調査費、書類作成費等について見直しをしている。(継続中)									